

子育て支援センター 遊びに おいでよ

茨城町子育て支援センターは子育て親子に寄り添い、親子のふれあいと絆を深める活動をおこなっています。

新型コロナウイルス感染症対策に関するお願い

- ・新型コロナウイルス感染の疑いや濃厚接触者となった場合、もしくは家族がPCR検査を受け、結果待ちの場合には利用をお控えください。
- ・新型コロナウイルス感染症が疑われる方と接した場合や、同居する家族に発熱のある方がいた場合は、一定期間の利用をお控えください。
- ・咳、鼻水などの症状のある方は、利用をお控えください。

まんまる一むのご案内 要予約

対象 茨城町に住民票のある保護者と未就学児

開放時間 午前及び午後の2部制
*土曜日の開放は当面行いません。

平日《午前》9時30分～11時30分
《午後》1時30分～3時30分(各10人)

予約受付 月曜日～金曜日の午前9時～午後4時
(当日予約も承ります)

*希望日の前週の月曜日より、電話または子育て支援センターの窓口で受け付けます(定員になり次第締め切り)。

その他

- ・予約できる方は利用する保護者のみです。
- ・予約は一家庭一回までとし、次の予約は利用後にお受けします。
- ・兄弟であっても小学生の利用はご遠慮ください。
- ・詳細は受付の際にお伝えします。

読み聞かせ

日時 1月18日(水) 午前11時～11時15分
子育てボランティアが絵本や紙芝居の読み聞かせに来てくれます。親子でゆったりとお話の世界を楽しみましょう。

ボランティアによるピアノ演奏

日時 1月20日(金) 午前11時～11時15分
毎月一回、子育て個人ボランティアのサニーNAOKOさんによる演奏があります。お子さんと一緒に心地良い音色で癒やされましょう。

まんまるたいむ

時間 午前11時～11時15分
「からだであそぼう」「リズムであそぼう」「ふれあいあそび」「わくわくおはなし」などを日替わりで行います。



まんまるたいむの様子

町内在住者対象子育てセミナー

【集いの場。TU☆NA☆GU】

子育て中の仲間とおしゃべりする場です。参加者や職員と気軽におしゃべりをしましょう。子育てに関するアイデアやあそび場の情報など、参加者と共有しませんか。

対象 町内在住の3歳未満の子どもとその保護者
日時 1月25日(水) 午前10時～11時
場所 まんまる一む(定員5組)
予約受付 1月11日(水)～24日(火) 午前9時～午後4時 *土・日・祝日を除く。電話または子育て支援センター窓口で受け付けます(定員になり次第締め切り)。

*今後の状況により変更となる場合がありますので、ホームページなどでご確認ください。

—— 未就学児とその保護者が対象となります。詳細は、お問い合わせください。 ——

【予約・問合せ先】 こども課 子育て支援センター ☎029-291-0980 (直通)
茨城町総合福祉センター「ゆうゆう館」内



子育て相談 ご利用ください

対象 未就学児をもつ保護者
場所 子育て相談室(電話相談も受付可)
受付時間 月～金 午前9時～午後5時
1月7日(第1土曜日) 午前9時～午後4時30分
子育てに関する悩みや不安、誰かに話を聞いてもらいたいことなど、さまざまな相談に保育士が対応します。
相談の間、保育士にお子さんを預けることができます(月～金)。どうぞお気軽にお越しください。



みんなでキャレージ! 農業体験

町内の各小・中学校では、地域の農家の方の指導のもと、農作物を育て収穫する農業体験を行っています。今回は、貴重な体験をした児童や生徒たちの感想をご紹介します。

【問合せ先】 学校教育課 ☎029-240-7121 (直通)



ぼくはおにぎりが大好きです。五年生の総合的な学習の時間に、おにぎりの材料となるお米を一緒に作る体験をしました。田植えでは、転んでも落ちたけれど、水がつめたくて気持ちよかったです。稲かりでは、のこぎり鎌をはじめ使ったけれど、思い通りに使えてうれしかったです。だっこくでは思っていた以上に米が飛ぶのが面白かったのですが、一粒一粒集めるのは大変でした。米作りには八十八の作業があると講師の先生に教えていただきました。

みなでたくさん作業をしながら作ったお米なので、どんな味なのか食べるのが楽しみです。



葵小学校 五年二組
大倉 啓生

愛情を込めた米作り

私は十月二十八日に農業大学校の方々に農業体験をさせていただきました。前は草抜きの際に訪れましたが、その時と比べると苗の様子が変わっており、順調に育ったんだなと思えました。さつま芋も大きい物や小さい物などバリエーション豊富でおもしろいなと思いました。収穫したさつま芋はいろいろな料理に使おうと思います。

明光中学校 一年四組
渡辺 英 慈



明光中学校 一年二組
須藤 陽 葵

農業体験を振り返って



「今年のはさつま芋を育てて売ろう」というコンセプトで始まった総合的な学習の時間。僕たちは学年に十の会社を立ち上げました。会社名は「インパクト」に決まりました。一人一人の個性を生かしていくという思いを込めました。インパクトの経営方針はみんなで協力して経営することです。その方針どおりに進んできました。

今までの体験を通して一番印象に残ったのは苗植えです。最初に植えた苗が枯れてしまい、途方に暮れていたときにJAの方が新しい苗をくださいました。新しい苗は絶対に枯らすまいという気持ちで、それぞれが夏休みの間も水やりと草取りを欠かしてまいりました。そして、会社の皆が畑の写真を送りました。会社員が積極的に発言し、販売方法や価格設定などを検討しました。社員が集まる一人では考えつかなかったような意見が出て、よりよい方向へと進んでいきました。



青葉中学校 一年三組
山崎 竜 暉

協力のさつま芋